

六会地区 防災リーダーニュース

☆令和3年度 第1回六会地区防災リーダー連絡会全体会開催☆

5月18日(火)六会市民センターにて、「令和3年度 第1回六会地区防災リーダー連絡会全体会」が開催されました。

六会地区防災リーダー連絡会 郷原会長からの挨拶に引き続き、令和3年度の事業計画、収支予算の報告、各事業の役割分担についての説明がありました。特に今年度には、新たにファーストミッションボックス研修を開催する旨の説明もありました。その後、事業ごとの班に分かれ、今後の計画を話し合い、次回の会合日程を決定し閉会となりました。



令和3年度 六会地区防災リーダー連絡会 事業計画

- 4月 自治会連合会総会 (24日)
- 5月 第1回全体会 (18日)
- 7月 第1回総合防災訓練実行委員会
- 9月 第1回代表者会
第2回総合防災訓練実行委員会
- 10月 第2回全体会
- 11月 六会地区総合防災訓練 (7日)
- 1月 視察研修 (予定)
- 3月 第2回代表者会

その他 講演会、リーダー交流会、
ファーストミッションボックス研修、
避難施設運営委員会による開設訓練及び
防災訓練の協力、等々



『六会地区防災リーダー連絡会 会長あいさつ』 郷原 允(ごうはらまこと)



梅雨の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

自治・町内会長、地区防災リーダー及び自治・町内会員の皆様、いつもながら総合防災訓練等をはじめ六会地区防災活動にご協力いただきありがとうございます。

防災リーダー連絡会は、2020年2月から今日まで、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、殆どの

事業を中止せざるを得なくなりました。

そうはいつても大地震等自然災害は、いつ起こっても不思議ではありません。もし、関東大震災級の大地震が発生したら、すべての人が、きっと被災者になるでしょう。

すでに、ご存じだと思いますが、もう一度、ご自身の避難所がどこにあるのか確認し、ハザードマップ等で避難経路はどうなっているのか、歩いてみましょう。避難経路は、ひとつとは限りません。

また、大地震で命が助かっても、避難生活で心身の不調等により関連死で命を落とした人は、後を絶ちません。熊本地震では、関連死(217人)が直接死(50人)の4倍にも上りました。避難施設の運営・管理は、運営委員と避難施設にきた方と協力し、避難所生活の秩序を創り、維持し、不安材料を払拭しなければなりません。防災リーダー連絡会は、コロナに左右されない事業の在り方を再構築してまいります。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

六会地区防災リーダー連絡会
会長 郷原 允

“『ファーストミッションボックス』って?!”

『地震発生時、地域の誰であってもその場にいる人が迅速かつ確実な初動活動を実行する方法』です。

➡ 『指示カードと最低限必要となる事務用品を一つの箱に納めたもの』

* 防災計画で災害対応組織や担当者の役割を決めていても、災害時は計画通りに担当者が集まらない場合もあります。

そんな時、所定の場所に置いたボックスを駆けつけた人が開け、そこにある指示カードに従って行動します。

指示カードは、誰であっても実行できる簡単な作業であり、何をすればいいのかわかりやすく記載されています。

指示カードとその場に必要の用品がセットされたものが、**ファーストミッションボックス**です。

発災直後の貴重な時間を無駄にすることなく、その場にいる人で有効に対処することを目的としています。

* 6月27日(日)にワークショップ(研修会)開催予定